

令和 4年 3月 31日

令和3年度 補助事業等実績報告書

函館市長 工藤 壽樹 様

住 所 函館市元町24番1号

補助事業者等団体名

喉摘者福祉団体 道南銀鈴会

代表者名 会長 井平 隆郎



令和3年度 補助事業等実績報告書

補助事業等の名称 道南銀鈴会運営事業

令和 3年 4月 1日付函福障をもって補助金等の交付の決定を受けた上記の補助事業は、

令和4年 3月31日に完了しましたので、関係書類を添えて報告します。

補助金等交付決定通知額 金 50,000円

補助金等領収済額 金 50,000円

補助金等領収未済額 金 0円

令和3年度 補助事業等の実績書

申請者の概要	設立年月日	昭和 54年 8月 4日
	構 成 員	30 名
	営む主な事業	喉頭摘出者の発声技術の修得事業
補助事業等の内容	<p>身体障害者福祉事業の拡充に伴い、障害者自らの努力により、社会復帰の道を踏み出し、地域の実情に即応して、関係諸団体との交流、会員の親睦および協力を努めるとともに、食道発声、人工喉頭の研修上達に励み、また本会の充実を図るため次の事業を計画したが、コロナ感染防止対策のために例会や教室を自粛することもあった。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、食道発声、電気式喉頭発声練習例会の開催 2、特別発声訓練教室の開催 3、他団体主催の研修会への参加 4、各病院の喉頭摘出患者の慰問と激励 5、日本喉摘者団体連合会への参加 6、会員の情報交換と広報活動の推進 	
補助事業の実施による効果	<ol style="list-style-type: none"> 1、発声指導員の資質の向上 <p>日本喉摘者団体連合会北日本ブロック(仙台市)で開催される指導員研修会がコロナ感染症拡大により中止になり、代わりに道南銀鈴会独自の研修を行った。指導員の発声状況を交流し、それなりの効果が認められた。</p> 2、発声指導員による訓練体制の強化 <p>函館市および北海道南部の喉摘者が地元で容易に発声訓練を受けられ、コロナ感染症のため少ない機会であったが生活の質の向上がみられた。</p> 3、各病院との連携の強化 <p>会報「鈴の音」の発行を通して会員の生活や福祉の情報を提供し、コロナ禍の中であったが各病院と連携を保つことができた。</p> 	

令和3年度 道南銀鈴会 補助事業等の収支決算書

収入の部

(単位 円)

項目	本年度予算額		本年度決算額		増減		内訳
	予算額	うち補助対象事業	決算額	うち補助対象事業		うち補助対象事業	
会費	90,000	90,000	90,000	90,000	0	0	30名
補助金	50,000	50,000	50,000	50,000	0	0	函館市
助成金	350,000	60,000	350,000	60,000	0	0	相馬報恩会
雑収入	240,000	0	240,000	0	0	0	寄付、手数料
合計	730,000	200,000	730,000	200,000	0	0	

支出の部

項目	本年度予算額		本年度決算額		増減		内訳
	予算額	うち補助対象事業	決算額	うち補助対象事業		うち補助対象事業	
研修費	250,000	56,000	213,415	53,415	-36,585	-2,585	例会、特別練習、指導者研
会議費	130,000	44,000	140,000	20,000	10,000	-24,000	理事会 総会
負担金	70,000	70,000	60,603	60,603	-9,397	-9,397	日喉連 北日本ブロック
事務費	120,000	30,000	145,982	65,982	25,982	35,982	会報 総会資料等
雑費	100,000	0	110,000	0	10,000	0	幹旋物、研修懇親会 補助等
交際費	60,000	0	60,000	0	0	0	慶弔等
合計	730,000	200,000	730,000	200,000	0	0	

収支差し引き額 0円